

建部

キラリ

No.10

令和8年7月発行

編集・発行 建部地区まちづくり協議会 広報企画部会



下野町小泉ベリー園のブルーベリー

わか町紹介(建部下野町)

建部地区にある7つの町を順に紹介しています。今回は下野町です。

1421年の天竜寺文書「建部起請文」中に建部下荘野村郷と比定されています。同じ神崎郡御園地区にも野村があり、区別するため下野村と呼ばれたと考えられます。集落は愛知川に近い本郷集落のほか、村内南端の御代参街道沿いに枝郷の大塚があります。

春季大祭や墓地・惣地の管理は大字下野として一緒に行っており、総区長や氏子総代4年に1度は大塚が務めます。大字下野は滋賀県神社庁神崎支部に属し、祭祀は苗村神社（五個荘木流）の宮司が務められています。春季大祭においても下之郷の一村として宵宮祭は苗村神社に宮入し、本祭では木流、三俣と共に苗村神社天神宮の御輿で日吉神社に宮入します。本郷には天一神社、若宮神社、樹下神社（天一神社内）の三社があり、彦根藩主井伊家の信仰を受けた弘誓寺があります。また、大塚にも牛王神社と大塚庵があり、社寺の多さが目立ちます。

昭和30年代に愛知川河岸の平林にコンクリート工場が建設されましたが、今は別の事業が行われています。

下野町には2つの自治会（下野、大塚）があり、人口は231人（建部全体の7.7%）です。明治9年の記録によると、当時は67戸数、人口290人で、今よりも少し多い人が暮らしていたようです。

【下野、世帯数46】昔に比べ世帯数は大きく変わっていませんが、少子高齢化の影響で自治会活動や行事が大幅に縮小されてきました。以前は町内での運動会、文化祭、スポーツ大会を行っていましたが、現在は防災訓練とレクリエーションを組み合わせた「ボウクレの集い」を行っています。環境美化のための清掃作業（神社、里川、町道）は、毎年日を決め自治会全員で行っています。

【大塚、世帯数16】町名が示すように集落内に大塚古墳や大塚2号古墳などがあります。年初の総会で自治会の役員や神社関係の役割を決めますが、人口が少ないので兼務が当たり前になっています。以前はグランドゴルフ大会や夏祭りを盛大に行っていましたが、少子高齢化で継続が難しくなり、コロナ以降は中止となりました。現在は第3日曜日にみんなが集まり、神社を中心とした清掃作業や消防ポンプの点検作業を行っています。

建部地区まちづくり協議会総会2026

令和8度新役員体制でスタート

5月19日（火）建部コミュニティセンターにて、令和8年度建部地区まちづくり協議会総会を開催しました。総会には、まち協会員、自治会長、各種団体長など約40人の出席をいただき、提案した7議案を原案どおり可決、承認いただきました。

令和8年度の役員の皆さまです。

会 長	南川 雅次	新任
副会長	谷口 勝美	新任
副会長	奥 伊佐雄	再任
事務局長	福井 好信	新任
会 計	磯部 善之	再任
会計監事	松木 喜代司	再任
会計監事	高木 長久	新任



(専門部会)

環境美化部会長	高村 和弘	再任
歴史文化部会長	小泉 嘉津浩	再任
健康福祉部会長	谷口 勝美	再任
広報企画部会長	中井 昇	再任
コミセン館長	田中 加代子	新任



会長就任あいさつ

この度、建部地区まちづくり協議会の会長に就任させていただくことになりました。微力ながら精一杯務めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

本協議会は平成18年2月に設立し、20年の節目となります。この間、歴代の会長をはじめ、これまでの本協議会を支えてこられた皆様の尽力に敬意を表し感謝を申し上げます。

さて、近代社会の流れとコロナ禍等でコミュニケーションが希薄化し、地域における諸事業や地域団体にも影響を与え、地域の活力が低下しています。

こうした中、本協議会は自治会連合会をはじめ地域団体と連携を深め「建部に住んで良かった」「住み続けたい」と思えるまちづくりを目指し、役員一同知恵を出し合い進めて参ります。皆様のご理解をご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

（会長 南川雅次）

退任のあいさつ

令和5年に、自治会長としてまち協に関わらせていただき、その後、令和6年度に前会長の渡辺康夫氏が退任されるに当たり、一期二年まち協会長を務めることになりました。

二年間まち協会長を務めて来ましたが、皆様に満足していただけるような会長であったどうかは解りませんが、令和8年度定期総会を無事終了することが出来、次期まち協会長を南川雅次氏に引き継ぐ事が出来ました。

二年間、まち協会長を無事に終える事が出来たのも皆様のご協力のおかげと感謝しております。

今後もまち協事務局として、建部地区まちづくり協議会に関わっていかせていただきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

（前会長 福井好信）

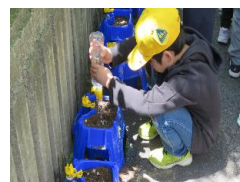
～みんなが楽しい！八日市北小をめざして～ 豊かな心と学ぶ力をもち、共に生きる子どもの育成

4月に74名の1年生を迎えて、全校児童380名で令和8年度がスタートしました。本校の学校教育目標は、「豊かな心と学ぶ力をもち、共に生きる子どもの育成」です。笑顔があふれ、「やさしさ」いっぱい、「やる気」いっぱいの子どもたちの姿をめざします。

学校スローガンとして「みんなが楽しい！八日市北小学校をつくろう！」を掲げ、子どもたちと教職員はもちろん、保護者や地域の皆様も含めて、まさに「みんな」で、「みんな」にとっての価値のある「楽しさ」を追求していく…そんな「地域とともに歩む学校づくり」を進めています。

本校では、「家庭・地域との連携」・「体験と関わり」を大切に考え、「地域とともに歩む学校」をめざしています。例えば、3年生の「町探検」の学習では、自分たちが住んでいる校区を知り、地域の魅力をみつけます。実際に校区を歩くことによってみつけた魅力だからこそ、この町を大切にしたいと感じることができるんだと考えています。学校の教科書だけでは学ぶことができない体験を重視し、自然体験学習（やまのこ・うみのこ・たんぼのこ・もりのこ学習・校区探検等）だけでなく、学校行事の取組や児童会活動（クラブ・委員会）等の「関わり活動」を重視しているのも、実際に「体験」して学ぶ…実際に「関わって」学ぶことを大切に考えているからです。

本校区は、東近江市の中心地にあり、官庁街や商店街、近江鉄道八日市駅を起点とした公共交通機関が整っており、田んぼが広がる豊かな自然、さらには価値ある史跡も多く残る大変恵まれた校区です。今後も、地域の皆様のご理解とご支援をいただきながら、「地域を学び、地域を知り、地域を誇りに思う」子どもたちを育てていければと思っております。随時募集しています「北小支援ボランティア」の活動を通して、地域の多くの方々が、学校に関わっていただき、学校と地域の風通しを良くするとともに、子どもたちがたくさんの方々との豊かな「関わり」を通して、健やかに育っていかけてくれることを切に願っております。地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



体験と関わり



本校の子どもたちの様子や校長の思いを随時発信しています。校長ブログをぜひご覧ください。



日浦大凱さん、世界大会の日本代表メンバーに選出

建部南町の日浦大凱(たいが)さん(聖徳中学3年)が、硬式野球の世界大会であるヨーロッパ選手権大会の日本代表メンバーに選出されました。全国から選抜された18名の選手と共に7月18日からフランスへ遠征し、ヨーロッパ各国の代表チームと対戦します。滋賀県からは大戸一(いち)さん(五個荘中学3年)の2名が選抜されました。

今回の選出は、関西連盟と湖東リトルシニア監督の推薦によるもので、試合で発揮した実績が評価され、代表メンバーの切符を手に入れました。

大凱さんは、お父さんが野球をやっていた影響もあり、小さい頃から野球が大好きな子供でした。八日市北小学校1年生からスポーツ少年団に入り、箕作スポーツ少年団では近畿大会や全国大会で輝かしい成績を残してきました。中学に入学すると硬式野球の湖東リトルシニアに入団し、チームの中心選手として活躍しています。

昨年の12月には台湾で開催された日台国際野球大会の代表メンバーに選出され、ホームランを打つなど活躍しました。湖東リトルシニアでの練習は木曜、土曜、日曜の週3日ですが、家ではお父さんと一緒に毎日2時間素振り、ティーバッティング、羽根打ち等を行っており、1日も欠かさない毎日の練習が今回の快挙につながりました。

大凱さんは、身長178cm、体重80kgと体格にも恵まれ、打撃では長打力があり、守備ではどのポジションでもこなせる頼もしい選手です。将来の目標はプロ野球選手になる事です。

建部地区のみなさんも応援よろしくお願いします。フランスで大活躍してくれることを期待しましょう。

大会結果は、建部キラリ次号(10月号)に掲載します。



地域密着型の学園祭～八日市高校～

6/17体育祭 6/18・19文化祭

棠楓祭



開催場所：
プロシードアリーナHIKONE

内容：○競技
(綱引き、台風の日、
八日市レース、団対抗リレー
部対抗リレー)

○フリーアトラクション
→各団ごとの
ダンスパフォーマンス

○バック絵
→各団ごとのテーマに
合わせて作成するイラスト

○生徒会企画
→文化祭で使える割引券が
もらえる抽選会

他にも…

- JAさんの近江牛試食会
- 尾賀亀さんのスイーツ
「ドゥバリ」の試食会
- 図書館で行われる
カフェと近江鉄道の
コラボ

開催場所：八日市高等学校

内容：○展遊楽 (1年)
→教室を飾り付けて、
お化け屋敷などのエンター
テインメントを行う

○演劇 (2年)
→生徒オールプロデュースの
演劇

○模擬店 (3年)
→地域のお店とコラボした
学園祭限定の飲食店を行う
(今年は模擬店で7つの店舗様と3つの
企業様にご協賛いただきます！)

○有志発表
→有志で生徒や先生が歌や
ダンス、漫才を披露する

体
育
祭

文
化
祭



料理に興味ある方募集します！

2年前に結成し活動しておりました、「建部おやじの料理クラブ」を改めまして、仮称「建部のおくどさん」とし、おやじだけでなく女性にも参加していただけるようにしました。

料理や食べることが好きな方は、是非参加願います。料理を通じて、ワイワイと賑やかに会話し楽しい時間を過ごしましょう。毎回でなくても、来られる時でOKです。

※問い合わせは、コミセンにご連絡ください。

主な活動内容としては、

- ・開催日時 月に約1～2回開催 平日の午後3時頃～5時まで
- ・開催場所 建部コミュニティセンターの調理室
- ・入会費 500円（調味料代等に充当）
- ・参加費等 当日の材料費を人数割り(1,000円まで)
- ・その他 ①まち協のイベントにバザー出店します。
6月：里まつり 10月：スポレク 11月：町民祭
②建部地区の一人住まいの高齢者の方への給食(お弁当)提供
今年は9月担当で、この日は朝からになり約40食作ります。
民生委員の方が、各お宅へお届けして下さいます。



BOOK TIME in 建部

『あすはきっと』 ドリス・シュワーリン／ぶん カレン・ガンダーシーマー／え 童話館出版

夜の住宅地に並ぶ4軒のおうち。一人でがんばって着替えている子、懐中電灯で遊んでいる子、人形とお話している子、そしてもちろん、本を読んでいる子もいます。では、「あす」はどんなふうに始まるのでしょうか。どんなことができるのでしょうか。かくれんぼができるかも。楽しいお買い物ができるかも。新しいともだちができるかも……。『あすはきっと』という言葉とともに、今日をふりかえり、明日が楽しみになる絵本です。



八日市図書館からの案内

ふるさと建部

人宿地藏尊由来 (明治6年生まれ 藤田多良兵衛 口伝)

昔、隣村から嫁に来た、おさとというものがおった。なかなかの働き者じゃたが、5年の月日が経っても子が授からん。姑は、「跡取りが出来んようではかえってもらわねばならん」といいだした。困ったおさと、正月明けの小雪の降る日、何とか助けてほしいと人宿地藏さんに頼んでみると、「朝晩お茶はお薬師さんに、水は地藏に供えて呉れ、さすれば願いをかなえよう」とのお告げがあった。

おさととは喜んでそれから毎日、朝は暗いうちに、夜は姑が寝てから、お茶と水を持って雪の日も雨の日も人宿地藏さんにお参りしたそう。ちょうど百日目、それは山王神社のお祭りの日、おさとの夢枕にお地藏さんが立たれ「来年の祭りには必ずや子供と共に祭りが見られるようにしてつかわそう」と言って立ち去られた。喜んだおさととは前にも増して野良仕事に精を出し、又、毎日地藏さん参りにも精を出した。

年が明けた正月半ば、玉のような男の子を授かり、姑の顔もほころんで、一家益々栄えたということじゃ。今も毎日人宿地藏さんにお参りが絶えない。

向かって右が薬師如来、左が人宿地藏尊である。よく見ると地藏さんは赤ん坊を抱いておられ、子宝が授かるという信仰されている。



養生の知恵袋

素敵な「腸内フローラ」を・・・

ヒトのからだは約40兆個の細胞で出来ています。ヒトのからだで共に生きている細菌は、「共生菌」といわれ、ヒトの細胞よりはるかに多い100～1000兆個の細菌が私たちのからだに存在しています。これらの細菌の大きさは、ヒトの細胞より小さいですが、その重さは大人の場合、約1～1.5kgになります。共生菌のうち「腸内細菌」が最も多く、多種多様に腸内で広く生息しています。その様子は、まるでお花畑(英語で花畑はフローラ)に例えられるので、『腸内フローラ』(＝腸内細菌叢)といわれるようになりました。ヒトは細菌無くしては、生きていけません。腸内細菌には、病原菌の侵入を予防したり、身体に必要なビタミンを生成したり、ドーパミン(パーキンソン病の人はドーパミンが少ない)やセロトニン(うつ病はセロトニンが少ないとされる)などの神経伝達物質を作ったり、免疫を正常に働かせるなど、ヒトの生命を守るために日々、奮闘してくれています。



戦後の食生活の変化が、日本人の腸内環境を悪化させ、免疫が正常に働かず、その結果、過敏性大腸炎やリウマチ、膠原病などの自己免疫疾患(免疫が誤作動して自分を攻撃してしまう病気)が増えてたといわれています。花粉症も免疫が過剰に働くことで起こる症状です。このことから素敵な腸内フローラを作り、免疫が正常に働くように仕向けることが必要です。

また、赤ちゃんは、お母さんのお腹にいる時は無菌です。誕生の際、通る産道で、お母さんの腸内細菌を譲り受けます。元気な赤ちゃんのために、お母さんが素敵な腸内フローラをもつことは、とても大切です。

素敵な腸内フローラを作るには、発酵食品や乳酸菌を食べるだけではなく、育てていくことが重要です。ダメージを与えるものは、薬として飲む抗生物質、食品の中に入っている保存料や防腐剤、偏った食事(脂っこい物、甘い物、刺激物)などです。素敵な腸内フローラを育てるには、食生活を調べ、適度な運動に心がけ、十分な睡眠をとり、ストレスを溜めないように心がけましょう。腸に素敵なお花畑を!(^^)! 【養生庵sakai:込山】

お問い合わせ先

建部地区まちづくり協議会・建部コミュニティセンター

TEL・FAX:0748-22-0303 IP:5801-0303

Mail : tatebe-machikyoo@e-omi.ne.jp

公式LINE

建部地区まちづくり協議会&コミセン

お得な情報やクーポン配信中!

